

日本のマーケット・10選

日本にも続々とクラウドソーシング企業が誕生している。競争が激化するマーケットの中で、各社の強みは、どこにあるのか。代表的なサービスを紹介する。

文 / 梅木雄平 The Startup代表取締役

nai-ma (ナイマ) <https://nai-ma.com/>



引っ越し先の「下見代行」をマッチング

引越しの前に賃貸物件を下見したくても時間がない人や、出費を抑えたい人（依頼人）と下見を代わりにやってくれる人（調査人）を結びつける下見代行マッチングサービス。下見してほしい内容や費用も簡単に設定できる。遠方に引っ越ししなければならない場合などに重宝するサービス。ユーザー登録は無料。ウェブサイトでは、調査人の全国分布を確認することもできる。

Crowd <http://realworld.jp/crowd/>



スマホの写真撮影がマイクロタスクに

リアルワールドが運営するマイクロタスクに特化したクラウドソーシングサービス。「お小遣いカメラ トレジャーハンター」といったスマートフォンアプリを使って、外観や料理などの写真を撮って送信すれば、ポイントがもらえるといったサービスが特徴的。発注者が案件を登録する際は、問い合わせをし、専属のコンサルタントが会社ごとの作業に合ったプランを立案するため、発注の手間を省くことができる。

楽天ビジネス <http://business.rakuten.co.jp/>



「一括見積もり」で、手軽に複数業者を比較

楽天が運営する日本最大級の「一括見積もりサイト」。時間も手間もかけずに複数業者を検索、比較できる。ホームページ制作、イラスト、翻訳など幅広い案件に対応し、全国の専門事業者から見積もりが取れる。利用料は完全無料。スピードに重きを置いており、即日見積もりは80%以上。利用企業数は、9万社にのぼる。また、「こんなことできるかな？」というアイデアでも、手を挙げる会社を見つけることができる。

Blabo! <http://bla.bo/>



アイデアを募集し、「集合知」で課題を解決

共創型のアイデアクラウドソーシングサービス。企業や個人が抱えるプロジェクトや課題をサイト上に投稿することで、SNS上の友人、Blabo!のユーザーからその解決のためのアイデアを集めたり、投稿されたアイデアを評価することができる。ロッテやアサヒビールなど10社以上の商品やサービスが生まれている。また、中小企業や個人クリエイントの拡大のため、2013年2月26日にサイトをリニューアル。

CrowdGate <http://www.crowdgate.net/>



ソーシャルゲーム中心にキャラクターを制作

イラスト・デザインに特化したクラウドソーシングサービス。キャラクターデザインが特に多い。「パートナークリエイター」という審査を通して認定されたクリエイターが5,000人以上在籍。受託制作事業では複数の商材カテゴリーがあり、クオリティーコントロール担当者が品質維持を行うサービスも提供している。内部制作では、キャラクターデザインの幅に限界がある企業などに最適なサービス。

Gengo <http://ja.gengo.com/>



世界中のネイティブを活用し、高品質の翻訳を実現

日本初の翻訳に特化したクラウドソーシングサービス。資金調達も680万ドルと、国内クラウドソーシングでは最大。他の翻訳クラウドソーシングと比べて、クオリティーコントロールを特に重視している。翻訳者が仕事を受注するためには、最低2段階の審査を通過しなければならない。応募した10人に1人が、この厳しいプロセスを通過してGengo翻訳者になれる。

shufti (シュフティ) <http://www.shufti.jp/>



主婦などを対象に教育プログラムも提供

株式会社うるるが運営するゼネラル型クラウドソーシングサービス。主に、主婦や在宅ワーカー向けのお仕事が多い。特にデータ入力の仕事が多く、案件投稿全体の約60%がデータ入力である。また、在宅ワーカーのためにテスト（一般常識、在宅ワークナレッジ、タイピング）やオンラインレーニング（有料）などの教育プログラムも提供している。

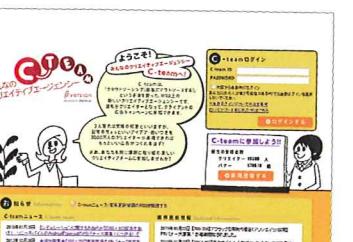
nanapi ワークス <http://works.nanapi.jp/>



自分なりの「生活の知恵」を社会のために

使ってほしい生活の知恵、ハウツーを提供しているnanapiの記事を、報酬を得ながら書くことのできるサービス。記事を書くことでポイントを獲得し、そのポイントは現金や電子マネーに交換することができる。「文章を書くのが好きな人、人に何かを教えることが好きな人に使ってほしい。在宅で働きたい人や、副業したい人、さまざまなお仕事で家でしか働けない人に使ってほしい」との願いを込めて生まれたサービス。

C-Team <https://c-team.jp/>



誰もが広告クリエイターとなってチームに貢献

リクルートが運営するバナー制作に特化したクラウドソーシングサービス。2タイプの案件があり、1つは、実際にバナー広告を大量配信し、効果の高い順にランキングをつけるタイプ（ランクイン型案件）。2つ目は、投稿されたバナー広告をクライアントが直接買取るタイプ（買取型案件）。バナーを作成したクリエイターは、現金や電子マネーなどに交換できるポイントを獲得できる。

MUGENUP <http://mugenup.com/>



イラスト工程を細分化し、品質を管理

ゲームに登場するキャラクターのイラストなどに特化したサービス。「デザイナー→線画→塗り→背景」と作業工程を細分化し、発注者も好きな工程から発注することもできる。また、クライアントが工程ごとに制作物の確認ができるので、要求している品質との乖離を途中で修正でき、修正の無駄をなるべく省ける仕様になっている。専門学校や教育期間と提携し、イラストレーター育成のための教育プログラムも提供している。